

# 哲學研究

第六百五號

令和二年十月三十日發行

西田幾多郎と鈴木大拙——生誕一五〇年を記念して

.....藤田正勝

Empiricis 概念小史

.....杉山卓史

## 特集

座談会 日本におけるアカデミズムの哲学史——

『哲学雑誌』と『哲学研究』の比較分析

趣旨説明

.....上原麻有子

大西祝の批評主義から見る『哲学雑誌』

.....納富信留

京都学派の形成の過程で『哲学研究』が果たした役割と

その特徴

.....藤田正勝

京都学派最盛期の『哲学研究』を支えた中井正一

.....上原麻有子

登壇者・来場者による質疑応答：鈴木泉・納富信留・藤田正勝

司会 上原麻有子

京都大学大学院文学研究科内

京都哲学會



## 会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません。入会希望の方は京都市左京区古田本町京都大学大学院文学研究科内京都哲学会（振替口座〇一〇二〇一―四〇三九 京都哲学会）宛に年会費六、〇〇〇円をお支払下さい。

一、会員の転居・入退会の事務及び編集事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編集に関する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。

一、本誌への論文の投稿は、原則として本会会員のみ受け、掲載の可否については、編集委員会と編集委員会で委嘱した委員（若干名）の査読を経て、編集委員会で決定する。（本会主催の公開講演会の講演原稿の掲載など、編集委員会依頼による論文掲載については、この限りではない。）

## 京 都 哲 学 会

千六〇六一八五〇一  
京都市左京区吉田本町  
京都大学大学院文学研究科内  
〇七五―七五三―二八六九

令和二年十月二十五日印刷  
令和二年十月三十日発行

編集兼  
発行人 京都大学大学院文学研究科内  
京 都 哲 学 会  
編集委員

上 原 麻有子  
杉 村 靖 彦  
宇佐美 文 理  
松 田 素 二

発 売 所 京 都 大 学 学 術 出 版 会

京都市左京区吉田近衛町六九  
京都大学吉田南構内（六〇六一八三三五）  
電話〇七五―七六一―六一八二

印 刷 所 株 式 会 社 文 成 印 刷

註 文 規 定

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料二〇〇円）前金にて京都哲学会宛お送り下さい。

ISBN978-4-8140-0294-8

©The Kyoto Philosophical Society 2020

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

令和二年十月二十五日印刷  
令和二年十月三十日發行

ISBN978-4-8140-0294-8 C3310 ¥2500E

定価：本体2,500円（税別）



9784814002948



1923310025008

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

NO. 605

October

2020

---

---

**Articles**

**Nishida Kitarō and Suzuki Daisetsu, Commemorating  
the 150<sup>th</sup> Year since their Birth** ..... Masakatsu FUJITA  
**Eine kleine Geschichte des Begriffs vom „Empfindnis“**  
..... Takashi SUGIYAMA

**Special Theme: Round Table Talk on “The History of Academic  
Philosophy in Japan: A Comparative Analysis of the *Journal of  
Philosophy* and *The Journal of Philosophical Studies*”**

**Explanation of Our Aim** ..... Mayuko UEHARA  
**The *Journal of Philosophy* as Seen from the Viewpoint of Hajime  
Onishi’s Criticism** ..... Noburu NOTOMI

**The Characteristics of *The Journal of Philosophical Studies* and the  
Role that it has Played during the Process of the Kyoto School’s  
Formation** ..... Masakatsu FUJITA

**Nakai Masakazu, Supporter of *The Journal of Philosophical Studies*  
during the Zenith of the Kyoto School** ..... Mayuko UEHARA  
**Discussion** ..... SUZUKI, NOTOMI, FUJITA  
Chair UEHARA

Published by

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan